

## 第28回 豊丘村リニア対策委員会

日時 令和6年1月30日（火）19:00～19:55  
場所 豊丘村保健センター2階  
参加者 委員29名 傍聴者10名（内報道4名）  
長野県2名 豊丘村6名  
JR東海15名（内JV5名） 中部電力PG5名（内JV2名）  
発言 委員▼ 長野県◇ 豊丘村○ JR東海△ 中部電力PG◆

### 1. 開 会

2. 村長あいさつ 下平村長

3. 会長あいさつ 辻元会長

4. 事業者関係者あいさつ 長野県：大島調整課長 JR東海：古谷部長  
中部電力PG：前沢課長

### 5. 協議・報告事項

(1) 現在の進捗状況について

#### 【JR東海】

≪説明内容≫別添資料

豊丘村内の工事概要：配布資料1

坂島工区・戸中壬生沢工区の工事進捗状況について：配布資料2～7

工事用車両通行に伴う確認書について：配付資料8

村道城見田線・壬生沢線の道路改良と発生土活用場所について：配付資料9～11

豊丘村内における対策土の活用について：配付資料12～17

#### 【質疑】

##### ▼委員

村道中央横断線の道路改良工事は通行止めになるのか、通行止めの場合は期間を教えてください。

##### △JR東海

基本は冬季通行止め期間の3月までの工事予定ですが、一部工事が残るため4月まで通行止めをして工事を進めます。

##### ▼委員

要対策土の不溶化とは、どういうものか、混ぜて、固めて、水に溶けないようにするのか。不溶化材はどのような物か。

##### △JR東海

不溶化対策の工法は、不溶化材を要対策土に混ぜて混合させます。そうすると対策土の周りに不溶化材が付き重金属が溶け出しにくくなる工法です。

不溶化材の種類はいろいろあるが、酸化マグネシウムなどの材料が主成分となります。

▼委員

壬生沢線発生土活用箇所には、阿島北工区で発生する5万立米の土を使って埋めるのか。  
また、発生土活用箇所には竜東一貫水路がある。盛土での土圧で水路に与える影響は大丈夫かどうか心配する。対策は検討しているか。

△J R 東海

ご質問のとおり5万立米の土を活用します。また、竜東一貫水路の件については地元からご心配する声もありますので、調査、設計を行い安全な施工を進めます。

【中部電力PG】

≪説明内容≫別添資料

下伊那変電所：工事状況・工事スケジュール

送電線工事：進捗状況・工事スケジュール

工事車両通行ルート

問合せ先

【質疑】

特になし

(2) その他

【各委員からの意見・情報提供】

▼委員

現在、トンネル発生土の運搬は山間部の道路を使用しているが、砂埃が道路に張り付いて非常に道路が汚れている感じがする。今後は生活路線を通行すると同じ懸念がされるが、車両の洗浄や道路の砂埃などの対策内容は。

△J R 東海

今後、壬生沢線などの生活道路も使用します。基本は発生土置き場を出るときに、タイヤ洗浄機を用いて洗浄を行います。通行している道路は、各JVが日々状況を確認し、必要に応じて清掃を行い、また道路管理者と調整して対策を決めています。

▼委員

トンネル採掘により虻川に様々な影響が出ているのではないかと思います。流出する微量な重金属等の水質影響や水量変化などを調査しているのか、また調査内容は報告しているか。

△J R 東海

現状、河川の状況や工事中排水の調査を適宜実施しています。対策土を仮置きしている周辺でも観測しています。環境への影響については保全計画書でまとめており、調査結果については年次報告しています。

▼委員

開業時期が2027年以降となったが、豊丘村内の工事は早く終わり、早く工事車両が豊丘村から無くなるのが、住民のために一番ベストと思っている。村内工区の工期を延ばさないように、当初計画どおり完了するように要望します。

△ J R 東海

一生懸命、工期に間に合うように工事を行っていますが、一方で、トンネル工事は地山を確認し工事を進めており、一部で土や山が悪く進捗が若干遅れている部分があります。当初の工期を超えてしまう状況になりましたら、改めてご説明をさせていただきます。

【村からの報告】

- リニア実験線試験立会実施（R5.9.29）
- リニア工事現場見学会実施（R5.11.12）
- リニア関連現場視察実施（R5.11.19）

6. 閉 会

担当：総務課 リニア対策室

問合せ先 35-9050